



## 地域連携活動に取り組む畿央大学

近畿地方の真ん中に位置する畿央大学（奈良県広陵町）は、2003年に開学されました。

同大学では、奈良県の中南和地域にある唯一の総合大学として、近隣市町村および商工会議所、企業等から地域の問題解決のための依頼を受けて、地域連携活動に取り組んでいます。

### ■「橿原商工会議所連携商品開発プロジェクト」

2009年から橿原商工会議所および橿原市と連携し、同大学健康栄養学科が中心になって、同市の文化や名所旧跡、地産地消農産物などを踏まえたレシピ開発を実施しています。

### ●2009年度「古代弁当製作プロジェクト」

奈良県産食材を使って歴史文化にちなんだネーミングで創作弁当「やまと恋うた弁当」を製作。包装紙も同大学人間環境デザイン科の学生によるものです。



「やまと恋うた弁当」

### ●2010年度「万葉人からの贈り物プロジェクト」

### 2011年度「観光おみやげもの開発プロジェクト」

### 2012年度「スイーツレシピ開発プロジェクト」

橿原市らしいお土産物等の開発を行い、毎年数品が商品化されています。

### ●2013年度「橿原産ショウガを使ったレシピ開発プロジェクト」

同市産業振興課が行う「産官学（農商工）連携事業」の市推奨商品の開発に取組み、生姜を使用した食材・加工品販売に、地元業者とともに20品を出品し、うち7品が認定されました。

### ●2014年度「橿原産ショウガ給食献立開発プロジェクト」

産官学連携で生まれた7商品の販路拡大と、橿原の生姜を市民にも知ってもらうために、就学前

児童の給食献立に取り入れる新しいレシピ「うさぎのお月見給食」を開発。

### ■「近鉄サービスエリアフードコートメニュー開発プロジェクト」

2014年4月から、近畿日本鉄道本社生活関連事業本部SA（サービスエリア）事業部と同大学健康栄養学科が連携して、西名阪自動車道香芝SAレストランフードコートで提供するメニュー開発に取り組み、グランプリに「大和芋のとろろ風オムライス」、準グランプリに「井界の新星！とりちり丼」を選出し、秋頃に発売する予定。



「大和芋のとろろ風オムライス」（左）と「井界の新星！とりちり丼」



### ■「子ども元気体操づくり・子ども体力測定」プロジェクト

2014年6月に宇陀市と包括連携協定を締結し、同市が掲げる健幸都市「ウエルネスシティ宇陀市」構想に賛同して、理学療学科、健康栄養学科、現代教育学科がチームを組んで支援しています。まず「子ども元気体操づくり」、そしてその体操の効果判定のための「子ども体力測定」を大学独自のノウハウで実施しています。

### ■「新たな連携」を目指して

同大学では、2013年に開学10周年を記念して、これまでに連携した行政、団体、企業等を招いて「地域連携フェア」を開催。今後も「地域社会に根ざして活動していくことが地域貢献の原動力となる」と考え、新たな連携を模索しています。

学生達が地域の課題を克服していく姿には、未来に羽ばたく力強さを感じられます。（奥 桂子）